

議事概要記録

開催日時	平成 24 年 11 月 3 日 12:30～14:00	開催場所	国民宿舎 紀州路みなべ
会議種別	平成 24 年度和臨技第 4 回理事会	議長	畑
		書記	田中(規)
出席者	玉置 達紀、畑 忠良、竹中 正人、大石 博晃、田中 規仁、 木下 博之、田中 久晴、脇村 小津江、須賀 洋、栗林 伴有、 蓬台 克之、瀧口 良重、今西 数彦、丸澤 佳子、 村田 正吾、勝山 浩樹 (16 名)		
欠席者	瀧谷 雅彦	オブザーバー	西川 潔
次第	平成 24 年度第 3 回理事会		
議事概要	<p>報告事項 会長報告 事務局報告 学術部報告 経理部報告 公益目的財産について 各種委員会報告(公益事業活動、定款・渉外、精度管理、データ標準化、 会誌編集、ホームページ、会報、その他)</p> <p>連盟報告 34 回和学会</p> <p>審議事項 常務(執行)理事会報告の審議 和臨技公益財産について WLCDE について 近畿大学生物理工学部医用工学科 実習講師依について 関西支部学会について 各事業部予算(1 月中には) 事務局から 公益活動 その他</p>		
決議事項 及び 継続事項	<p>冒頭に玉置会長より挨拶があった。</p> <p><b>会長動向報告(玉置会長)</b></p> <p>&lt;日臨技関連&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 特定看護師にかかわる医行為分類についてのアンケート依頼について全て反対の意見を提出した</li> <li>● 復興特別所得税における、講師料等の復興支援税負担について注意喚起通達があった。</li> <li>● 臨床検査技師による血圧測定について、医行為でない事より自動血圧測定器により血圧を測定することが承認されたと日臨技から連絡があった。</li> </ul> <p>&lt;支部関連&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 平成 24 年度関西支部医学検査学会が終了した。同日、支部幹事会+近臨技役員合同会議(宮島会長)が開催された。</li> <li>● 日臨技関西支部から日臨技近畿支部への改称について請願され、各府県会長名にて請願書を送った。</li> <li>● 関西支部学会決算報告、災害学会としての認定要請を提出した。</li> </ul> <p>&lt;和臨技会長行動報告&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 財団法人 和歌山県民総合検診センター 公益法人取得のための第 2 回最初の評議員選定委員会への出席</li> </ul>		

- 第 17 回和歌山県病院協会学術大会プログラム委員会への出席 田中理事（代理）
- 第 17 回和歌山県病院協会学術大会企画運営委員会（第 2 回）への出席
- 第 17 回和歌山県病院協会学術大会第 3 会場担当  
座長：栗林伴有（日赤和歌山医療センター）  
和臨技担当会場：第 3 会場（玉置、田中事務局）  
学術大会シンポジウム シンポジスト：口広智一（公立那賀病院）
- 近畿大学生物理工学部 医用工学科、医療治療機器学・生体計測装置実習講師  
依頼については討議事項で
- KK じほう社 MTJ 取材 「タイ研修の経緯や概要について」
- 第 14 回和歌山県病院大会（第 17 回学術大会）実行委員会への出席予定
- 第 32 回近畿地区臨床検査大会への出席予定
- 和歌山県知事との懇談会への出席予定（玉置、竹中）
- 第 14 回和歌山県病院大会（第 17 回学術大会）への参加要請

#### 常務（執行）理事会報告 審議事項で

#### 事務局報告（田中事務局）

- 日臨技公益委託事業（がん・STI）申請しました。
- 知事感謝状に中村好伸氏を推薦しました。
- 和歌山県糖尿病協会より和歌山地域糖尿病療養指導士（WLCDE）の認定制度にかかる HP 掲載依頼がありました。
- 和歌山県より「世界エイズデー2012in 和歌山」協力依頼公文書（和臨技・日臨技）頂きました。
- 医療セミナー in わかやま について、関連団体に後援依頼を発送しました
- 和歌山県より山崎技師の平成 24 年度院内感染対策講習会受講者 決定通知を頂きました。
- 和歌山県より知事感謝状 中村好伸氏決定の通知を頂きました。
- 平成 24 年度第 8 回和臨技 HIV/AIDS 対策海外人材育成研修は実務委員含む 18 名で無事に終了しました。
- 第 5 回理事会 3 月 2 日（土）予定しています。

#### 学術部報告（木下学術部）

- 日臨技推進事業について、10 月 4 日に承認されていた勉強会 1 4 回分の報告書を日臨技に郵送しました。決済後、近々に送金となります、との事。
- 和臨技サーベイ報告会を 3 月 2 日予定（和歌山学会関連事業）しています。事業としては 10 月 28 日に発送サーベイ試料を発送済み。今後のスケジュールは解析・）報告書の作成と発送（冊子でなく CD になる可能性あり）を予定。
- 平成 25 年度関西支部学会シンポジウム打ち合せ会議（12 月 9 日京都）に出席予定。
- 平成 24 年度 日臨技関西支部 臨床化学研修会が和臨技担当（堀端氏）で、平成 25 年 2 月 3 日（土）和歌山県立医科大学 生涯教育センター 3 階にて開催する旨の各府県幹事宛周知依頼を白波瀬学術担当幹事に送付
- 25 年 1 月以降に開催する研修会、学会等の講師料に復興支援税が上乘せされる事が中町祐司関西支部長より連絡があった。
- 第 14 回和歌山県病院大会コメディカルシンポジウム、和臨技側シンポジストに口広 智一 技師（公立那賀病院）を推薦、一般演題座長に栗林 伴有 技師（日本赤十字社和歌山医療センター）を推薦しました。

- 第 62 回日本医学検査学会日臨技全国学会座長推薦（臨床化学・生理機能の 2 名）があり、臨床化学は大石 千早 技師（和歌山県立医科大学附属病院）、生理機能は栗林 伴有 技師（日本赤十字社和歌山医療センター）を推薦予定。
- 日臨技医学検査論文の推薦依頼があり、推薦論文として塩谷 千恵子 技師（社会保険紀南病院）の「フィラデルフィア染色体陰性である慢性骨髄性白血病類縁疾患の 2 症例」を予定。

#### 経理部報告（大石経理部長）

- 予算的に非常に厳しい。(11 月 1 日現在、執行収支は-500 千円程度)

#### 公益目的財産について（西川氏）

- 今年度に 593,266 円が本名目で残っており、あと 2 年で償却しかつ総務省経由和歌山県に届けねばならない。名目に公益目的を明記して届けなければならない。

#### 各種委員会報告

##### 公益事業活動報告（畑副会長）

- ピンクリボン（紀南）は実務委員 9 名で 10 月 7 日開催しました。
- ピンクリボン（紀南）は実務委員 5 人で 10 月 13 日開催しました。
- 日臨技委託共益事業予算内で完了しました。

##### 精度管理・データ標準化（今西理事）

- 和臨技サーベイを 10 月 28 日に発送、報告期日は 10 月 9 日ですすでに執行しました。
- 本サーベイは約 50 万かかっているのので、来年度は 30 万以内で抑えたいと考えています。
- 日臨技標準化事業については、和歌山県 2 基幹施設では測定・報告を終了しました。
- 11 月 1 日より 10 日間、精度保証認証申請の募集が始まります。各施設に保障認証申請を受けてほしいとの事。

##### 定款・渉外（竹中副会長）

- 特になし

##### 会誌編集（脇村理事；瀧谷理事代理）

- 会誌「臨衛技」について、改称について提案があった。
- 12 月 25 日締め切り
- 学術論文の募集
- 学術部合同研修会の問題と解説の掲載依頼
- 年中論文を書くように促す環境を作りたい。

##### ホームページ（丸澤理事）

- 特になし

##### 会報（脇村理事）

会報投稿依頼について、随時受け付け中です。11 月 20 日ぐらいまで、自己紹介まだのかたはお願いします。

#### 糖尿病関連について（田中理事）

- 世話人会があり、代表世話人の紀南病院の河内さんが今年度限りで引退、次年度は薬剤師会から出るということです。

#### 第 34 回和歌山県医学検査学会について（蓬台理事）

- 学会テーマは、会員の会員による会員のため和歌山県医学検査学会、サブテーマはチャレンジとして、技師になって間がない技師を中心に募集しています。

#### 連盟報告（脇村理事）

- 国政選挙に関する対応について、連盟より連絡が有りました。
  - ① 日本臨床検査技師連盟が所属する議員連盟からの推薦依頼は受諾する
  - ② 個々の立候補者に対しては、臨床検査技師にとり有益な政治活動を行うか精査の上、連盟常任委員会に一任する。
  - ③ 「②」にあたる候補者の場合、日臨技会員並びに連盟連絡責任者に対し案内文(パンフレット)等を送付することがある。

〈以上報告事項〉

#### 常務（執行）理事会報告

近畿大学生物理工学部医用工学科 実習講師依について

紀ノ川市にある同大 CE 養成学科で、現職の臨床検査技師による非常勤講師依頼（心電図測定・超音波診断装置の取り扱いと性能点検について。講義と実習を平成 25 年度の 4 月から 3 か月程度、週 1 回午後枠）についての依頼があった。常務（執行）理事会では全会一致で前向きに受けるべきとの結論で、理事会においても異論等なく承認された。

#### 学術部からの審議

日臨技推進事業報告書提出については、勉強会収支報告完了後に JAMTIS システムより報告書を印刷後、事務局より日臨技事務局に郵送の形とする事となった。学術部 PC について、もう一台起動不能となった。日臨技推進事業の費用が振り込み後、年度末に新規 PC を購入する事を前向きで考える事となった。

#### 関西支部学会

畑副会長より日臨技関西支部学会（52 回）の決算報告があった。台風による参加者が当初見込み（1,100 人）より少なかった（750 人）ため、マイナス決算（収入 1555 万円・支出 1705 万円・収支-149 万円）となった。すべて新規日臨技様式に従って処理を行い日臨技に報告したとの報告があった。

玉置会長より日臨技に対し、中町支部長を通して、台風による災害学会認定と不足分の補填について申請を行っているとの報告があった（9 日金曜日に日臨技執行理事会で審議）。

#### 各事業部予算

平成 25 年度の各部事業計画案と予算案については、来年 1 月末には常務（執行）理事をとおして事務局に提出していただき、2 月の常務（執行）理事会にて審議のうえ、3 月の理事会にて承認する形にすることで承認を得た。書式は前もって配布します。

玉置会長より、理事会報告については、事務局への事前提出はもちろんのこと、事業執行後は事業報告書・行動報告書等を随時提出する旨の指示が付け加えられ

	<p>た。</p> <p><b>公益事業からの審議</b>  第13回医療セミナー in わかやま について  来年1月26日和歌山県立医科大学附属病院4階臨床講堂にて開催する旨のスケジュールやポスター案、アンケート実施の申請があり、一部修正した後に承認された。</p> <p>11月24日、和大学園祭内に和臨技公益事業 HIV/AIDS 啓発ミニ講習会（4コマ）の企画とVCTを実施します。</p> <p><b>経理部からの審議</b>  会費について、玉置会長と大石経理部長より和臨技会費5,000円への値上げについて要請があった。常務（執行）理事会において、和臨技サーベイ無料の必要性や、各事業の見直しや各経費の削減等の緊縮計画においても、また日臨技助成金継続の不透明性や、年度初めの運転資金の必要性から会費値上げは必須と考えた。会員の理解を得るには、一般社団法人として、職能団体として不必要な事業は見直す事も必要ではないかという意見もあったが、和臨技としての事業目的や会運営の方向性をしっかりと会員に説明したうえで、理解を得られれば会費値上げを総会等で提案し承認を得る方向で理事会承認された。</p> <p><b>事務局からの審議</b>  大阪府会員施設からの求人案内HP掲載依頼については、受諾してもよいと承認された。  新春号新聞広告（和臨技広告）は断る方向で決定された。</p> <p style="text-align: right;">〈以上審議事項〉</p> <p>終了時に竹中副会長より挨拶があった。</p>					
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;"></td> <td style="width: 20%; text-align: center;">氏名</td> <td style="width: 20%; text-align: center;">田中規仁</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">提出</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">11月12日</td> </tr> </table>		氏名	田中規仁	提出	11月12日
	氏名	田中規仁	提出	11月12日		

※ 諮問委員会で「報告書」が提出される場合、「委員会議事録」が別途作成添付される場合は添付資料で可